

2018年度 大学入試センター試験（本試験）分析と学習のアドバイス

科目： 物理基礎

◆全体概況

大問数・解答数	大問数：3題 解答数：13問
難易度	昨年並み
分量	昨年並み

◆大問別分析

大問	出題分野・テーマ等	配点	分析
第1問	小問集合	20	昨年と同様全分野を満遍なく扱った小問集合であった。問1・2はエネルギーの関係と力のつりあいの力学の基礎となる出題。問3の電子と静電気力の関係と電気量の単位を問う問題。問4は音速が約340m/sであることを知識として知っていないと解答できない。問5の熱容量の定義を理解していることがポイントである。
第2問	波動、電気	15	合成波を描けなくても、重ね合わせの図から山・谷などポイントを絞って見ることであれば、惑わされることなく回答できるだろう。うなり・抵抗の公式は忘れがちな受験生が多いので、差が出る問題ではあった
第3問	力学	15	Aの問2で、小球の水平方向の初速度の発生に気が付けば、問題なく回答できるだろう。Bでは物体一つ一つに着目し、力・加速度の向きを的確に図示することができれば問題なく回答できるだろう。